

# 令和7年度（2025年度）

## 卒業生からのメッセージ（答辞）

校庭の桜のつぼみが少しずつ膨らみ始め、春の訪れを感じるこの良き日。  
私たち9年生6名は、くす若草小中学校を卒業します。  
こうして無事 旅立ちの日を迎えることができ、本当にありがとうございます。

ぼくたちはそれぞれ異なる背景を持って、この学校へ入学してきました。

僕は前の学校で友達関係がうまくいかなくなり、同時に学校に行くことも嫌になりました。  
その時のぼくは、周りに遠慮して、どこか本当の自分じゃありませんでした。  
それから、ぼくは、友だち付き合いが苦手になりました。  
合う人・合わない人、いろんな人がいる中で、  
距離のつめ方が自分的にはすごく難しかったです。  
母にこの学校を勧められましたが、当時の僕は  
「どこの学校もどうせ同じやろ」と思っていました。

でも来てみると、過ごしやすく、とても楽しかったです。  
最初は友だちができるか不安でした。  
でも一人の同級生が転校してきて  
向こうからたくさん喋りかけてくれたことをきっかけに仲良くなることができました。  
そのままいい波に乗れて、いろんな友達と仲良くなることができました。

ぼくが入学したあとも、たくさんの転校生がこの学校にはやってきました。  
家で母から  
「新しい子が来たら話しかけて、学校に来やすいようにしてあげよ！」  
とよく言われていたので  
ぼくは新しい友達や体験の人がきたら  
自分から積極的に話しかけるようにしました。

自分が逆の立場だったら  
そうしてもらえたほうが嬉しいし  
一人にいるより輪に入れた方がいいと思ったからです。

結果的に、この学校でたくさんの友達ができ、いい思い出をつくることができました。  
高校に入って、不安もあるけど、仲良くなれる人がいたらいいなと思います。  
相手が喋りにくそうだったら自分から喋りかけて、  
たくさん自分から友だちをつくりたいです。

ぼくは2年生の9月頃、〇〇君のあとにこの学校に入学してきました。  
2年前のぼくは、正直、学校へ行くことを諦めていました。  
けれど、設立のために尽力してくれた人に紹介してもらい、「少人数のここなら過ごせるかもしれない」と、自分の意志で来ることを決めました。実際に通ってみると、想像以上にみんなが優しく接してくれ、僕はいつの間にか、自分らしく過ごせるようになっていました。

ぼくは人前で話すことは苦手です。  
でもこの学校では毎日対話の時間があります。対話の時間を通して自分の言葉で話すことに少しずつ慣れ、今は、人前で自分のことを言えるようになりました。

6月に野遊びで行った黒岩岳の登山では  
思った以上に急な坂で、結構登るのに苦労しました。  
きつくて〇〇くんや〇〇くん、友だちが荷物を持ったりサポートしてくれて、  
頂上まで登ることができました。  
友達がいなかったら、途中でギブアップしていたと思います。  
一緒に頂上の景色を見られたことは本当に嬉しかったです。  
一緒に登ってくれてありがとう。  
この登山は、自分自身にとっても達成感を味わうことのできたものでした。

また、ぼくはこの学校で「ギター」に出会いました。文化祭や探究発表に向けてみんなで決めた曲を練習しました。自分が練習する分だけ上手く弾けるようになっていき、さらに、みんなで合わせる音が深くなっていくのはとても嬉しかったです。  
人前で発表する時は、演奏前はとても緊張しましたが、実際にたくさん聞いてもらって、最後に拍手をもらった瞬間は気持ちが良かったです。

もし、あの時学校を諦めたままだったら、僕は今も家にこもり、ネットの世界だけで過ごしていたかもしれません。  
でもこの学校に来て、ぼくは笑顔が増えました。  
好きなことや得意なことを通じて、少しずつ自分に自信を持てるようになりました。  
それをきっかけに自分の思いを人に伝えることができるようになり、世界が広がったと思います。

ぼくは9年生の2学期にこの学校に転校してきました。  
最初ここに来るまではとても緊張していました。  
初めての転校で、なんだか心が生まれ変わるような気持ちで不思議な気持ちになりました。  
入学してみると、教室の開放感とみんなの雰囲気が明るく、たくさん話しかけてくれて嬉しかったし、とても安心しました。

ぼくは教室で過ごす毎日がとても幸せでした。  
特に、休み時間が好きでした。バンドメンバーが自然と流れるようにリラックスルームに集まって、それぞれがドラムやギター、ベースの練習をしたり、合わせて曲を演奏したりしました。時間が経つにつれて、だんだん息もあってきて、きれいな音楽になっていくのを感じました。すごく楽しくて、心地よくて、毎日学校に来るモチベーションになっていました。ドラムを叩いている時間は、理想の自分でいられました。不安なこととか全て忘れて、好きなことに没頭できる時間でした。  
この学校でいろんな経験を通して、”自分で考えぬく力”がつかえました。  
自分の人生の中で、このくす若草小中学校に出会えたこと、そして私たちを温かくサポートしてくださった全ての方々に心から感謝しています。

私たちがこうして前を向けるようになったのは、支えてくださった多くの方々のおかげです。

### **地域のみなさま**

時間を割いて草刈りに来てくれたり、僕達のために楽器やアンプを寄贈して下さったりと、僕達の学校生活を陰から支えて下さりありがとうございました。玖珠町のみなさんからたくさん愛情を頂いた分、恩返しができるような大人になれるように頑張ります。

### **先生方**

一人ひとりに寄り添い、どんな時も温かく見守ってくれてありがとうございました。  
休み時間に体育館でバドミントンをしたり、楽器を教えてくれたりしました。  
授業や何気ない日常生活の中で、先生方が注いでくださった愛情に心から感謝しています。

### **小学部のみんな**

その明るさとパワフルさ、無邪気な姿に、いつも元気をもらっていました。一緒に催しをしたり、野遊びをした時間は楽しかったです。来年も一日一日を大切に、楽しい毎日を過ごしてね。

### **中学部のみんな**

一緒に笑い、一緒に過ごしてくれてありがとう。みんなと出会えたことで、ぼくたちの学校生活は最高に楽しいものになりました。4月からそれぞれの場所で頑張ろう！また会える日を楽しみにしています。

### 最後に保護者のみなさま

今日まで私たちを支え、見守ってくれて本当にありがとうございました。

どんな時でも味方でいてくれたこと。

「自分のやりたいこと」を信じて応援してくれたこと。

そして何より、この「くす若草小中学校」という場所を選ばせてくれたことに、

心から感謝しています。ありがとう。

これからもまだまだたくさん迷惑をかけてしまうと思うけど、よろしくお願いします。

約2年間、素晴らしい出会いと、思い出を、ありがとうございました。

ぼく達は4月からそれぞれ新しい道へと進みます。

新しい環境へ飛び込むことへの不安はありますが、今のぼく達ならきっと大丈夫です。

重ねてになりますが、ぼくたちを支えてくださったすべての方へ

心から感謝の気持ちを申し上げます。

この先もくす若草小中学校にたくさんの笑顔があふれることを

心より願いながら、答辞といたします。

2026年 3月5日 くす若草小中学校 卒業生代表